



ユーザーマニュアル

ウェアラブルカメラ

DrivePro Body 10

2024/1

(v1.5)



目次

1. システム動作条件	2
2. 使用前の準備	3
■ 各部名称	3
■ DrivePro Body 10 の充電	4
■ microSD カードの挿入	4
■ LED 表示	5
■ 日時&スタンプの設定	5
3. 録画	6
通常録画	6
赤外線 LED モード	6
イベント録画	6
4. スナップショット撮影	6
5. 録画/スナップショットファイルの再生/転送/削除	7
■ 録画ファイルの再生&スナップショットファイルの表示	7
■ 録画/スナップショットファイルの転送&削除	7
6. DrivePro Body Toolbox ソフトウェア	8
7. 注意事項	21
8. IPX4 生活防水	21
9. パッケージ内容	22
10. 仕様	24
11. よくある質問	25
12. リサイクルと環境への配慮	26
13. 保証規定	27
14. GNU General Public License (GPL) Disclosure	28
15. End-User License Agreement (EULA)	28
16. Federal Communications Commission (FCC) Statement	31

1. システム動作条件

DrivePro Body 10 を PC に接続するために必要な環境です。

使用可能な USB ポートが搭載されているデスクトップかノート PC

- Windows® 7
- Windows® 8
- Windows® 10
- macOS® 10.14 以降

DrivePro Body Toolbox ソフトウェアを利用するのに必要な環境です。

- Windows® 7
- Windows® 8
- Windows® 8.1
- Windows® 10
- macOS® 10.14 以降

2. 使用前の準備

■ 各部名称



■ DrivePro Body 10 の充電

使用する前には付属の電源アダプタか USB ケーブルで十分にバッテリーを充電してください。充電中は警告ランプがオレンジに点灯します。満充電になると LED は消灯します。

DrivePro Body 10 を充電するには以下の方法があります。

1. USB ケーブルで電源アダプタと DrivePro Body を接続し、AC コンセントから充電します。
2. USB ケーブルで DrivePro Body と PC を接続して充電します。

■ microSD カードの挿入

録画を開始する前に microSD カードを DrivePro Body に挿入する必要があります。



1. microSD カードを DrivePro Body 下部のカードスロットに挿入します。

注記: 新しいメモ리카ードを初めて使う前には常にカードのフォーマットを行ってください。

注意:



メモ리카ードは DrivePro Body Toolbox を使用してフォーマットしてください。別の方法でフォーマットする場合は FAQ を参照ください。

<https://jp.transcendinfo.com/Support/FAQ991>

2. microSD カードを取り出すときはカードを押してカードスロットから外します。

注意:



1. 電源をシャットダウンしている最中にメモ리카ードを外さないでください。メモ리카ードのデータが損傷したり、消えてしまう可能性があります。
2. トランセンドは操作中のデータ損失には一切の責任を負いません。

- より良い録画のために、トランセンドの高耐久 microSD カードや MLC NAND フラッシュを採用しているメモ리카ードの利用を推奨しています。
 - 高耐久 microSDHC カード
 - 高耐久 microSDXC 350V カード
- 2019 年 9 月以前に生産されたモデルは 8GB、16GB、32GB の容量に対応しています。(Class 10 以上)

■ LED 表示

上面



録画中

LED	状態	説明
●	点滅	空き容量少
●	点滅	バッテリー残量少

PC/電源アダプタ接続中

LED	状態	説明
●	点滅	データ転送中
●	点灯	充電中

前面



録画中

LED	状態	説明
●	点滅	通常録画中
	点滅(速)	イベント録画中

■ 日時&スタンプの設定

使用する前に DrivePro Body Toolbox ソフトウェアをダウンロードした PC に DrivePro Body を接続して日時とスタンプの設定を行うことを推奨しています。これらを行うことで記録映像に日時やスタンプの情報が追加されます。

詳細は **DrivePro Body Toolbox** ソフトウェアの項目を参照ください。

3. 録画

通常録画

⏻ ボタンを長押しすると、ピーという音が一度してから録画が始まります。録画中は録画ランプが赤く点滅します。録画を止めるには ⏻ ボタンを長押しするとピーという音が一度し、録画ランプが消灯します。録画3分ごとに動画ファイルが一つ保存されます。



赤外線 LED モード

夜間や低光量の場面では赤外線LEDモードが自動で起動し、4つの赤外線LEDライトが点灯します。

● ボタンを長押しすると手動で赤外線LEDモードへの切り替えを行うことができます。DrivePro Body 10が撮影環境の光量を正しく認識できるように撮影対象との間隔を50cm以上空けてください。

注記: 赤外線LEDによる録画は白黒で記録されます。

イベント録画

イベント録画を開始するには録画中に ⏻ ボタンを短く押します。ピーという音が二度(一度目は短く、二度目は長い音がします)してから録画が始まります。録画中は録画ランプが短い間隔で赤く点滅します。1ファイル分の録画が完了すると(設定した録画時間)自動的にイベント録画から通常録画に切り替わり、イベント録画で記録した映像は上書きされないように“Event”フォルダに保存されます。

4. スナップショット撮影

録画中に写真を撮影するには、● ボタンを押します。



注記: 赤外線LEDによるスナップショットは白黒で記録されます。

5. 録画/スナップショットファイルの再生/転送/削除

録画/スナップショットファイルを閲覧する場合は DrivePro Body 10 をデスクトップやノート PC に接続します。

オプション 1:

DrivePro Body 10 から microSD カードを取り出し、互換のあるカードリーダーなどに挿入して PC にファイル転送します。

オプション 2:

1. USB ケーブルの小さな端子の方を DrivePro Body 10 の底部にあるマイクロ USB ポートに挿入します。
2. USB ケーブルの大きな端子の方をデスクトップやノート PC の USB ポートに繋ぎます。



■ 録画ファイルの再生&スナップショットファイルの表示

DrivePro Body 10 のフォルダを選択し、VIDEO フォルダをクリックして録画ファイルを再生します。スナップショットファイルを表示するには PHOTO フォルダをクリックします。

■ 録画/スナップショットファイルの転送&削除

● Windows 7 / 8 / 10

DrivePro Body をデスクトップやノート PC に接続するのにドライバは必要ありません。Windows OS に当カメラに対応するドライバがすでに組み込まれています。DrivePro Body を PC に接続してからマイコンピュータを開くと、新しくリムーバブルディスクというドライブが現れ、DrivePro Body 10 を表すアルファベット文字が自動的に割り当てられます。また、ハードウェアの取り外しアイコン  が Windows のシステムトレイに表示されます。

Name	Type	Total Size	Free Space
Hard Disk Drives (2)			
Local Disk (C:)	Local Disk	976 GB	237 GB
Local Disk (D:)	Local Disk	886 GB	3.19 GB
Devices with Removable Storage (1)			
Removable Disk (E:)	Removable Disk		

マイコンピュータ (例: Removable Disk [E:])

この状態では DrivePro Body 10 は外付けストレージと同様にデータ転送が行えます。録画やスナップショットファイルの転送は DrivePro Body 10 を表すフォルダの中からドラッグ&ドロップします。また、メモリカードがいっぱいになったときなどに不要なファイルを削除することができます。

DrivePro Body 10 の安全な取り外し(Windows OS)

1. システムトレイにあるハードウェアの取り外しアイコン  をクリックします。
2. ハードウェアを安全に取り外すウィンドウが現れますのでクリックして続けます。
3. “USB 大容量記憶装置はコンピュータから安全に取り外すことができます”というメッセージウィンドウが表示されたら、DrivePro Body 10 を USB ポートから取り外してください。



● macOS® 10.14 以降

ドライバは不要です。DrivePro Body 10 を利用可能な USB ポートに接続すると、PC が自動で認識します。



DrivePro Body 10 の安全な取り外し(macOS)

DrivePro Body 10 を表すディスクアイコンをドラッグ&ドロップしてゴミ箱に移してから USB ポートから外します。

警告:



1. データの損失を防ぐため、DrivePro Body 10 を PC から外すときは常に正しい取り外し手順に従ってください。
2. DrivePro Body 10 を PC に接続している間はファイルの転送のみ可能です。録画やスナップショットの撮影を行うには PC から取り外してください。

6. DrivePro Body Toolbox ソフトウェア

DrivePro Body Toolbox を利用するには管理者権限が必要です。

DrivePro Body Toolbox はトランセンドの DrivePro Body 専用のソフトウェアで、Windows と macOS に対応しています。ファイル管理に加え、DrivePro Body や録画/写真ファイルの設定が行えます。

1. インストールファイルをダウンロードします。

<http://jp.transcend-info.com/support/software-184/>

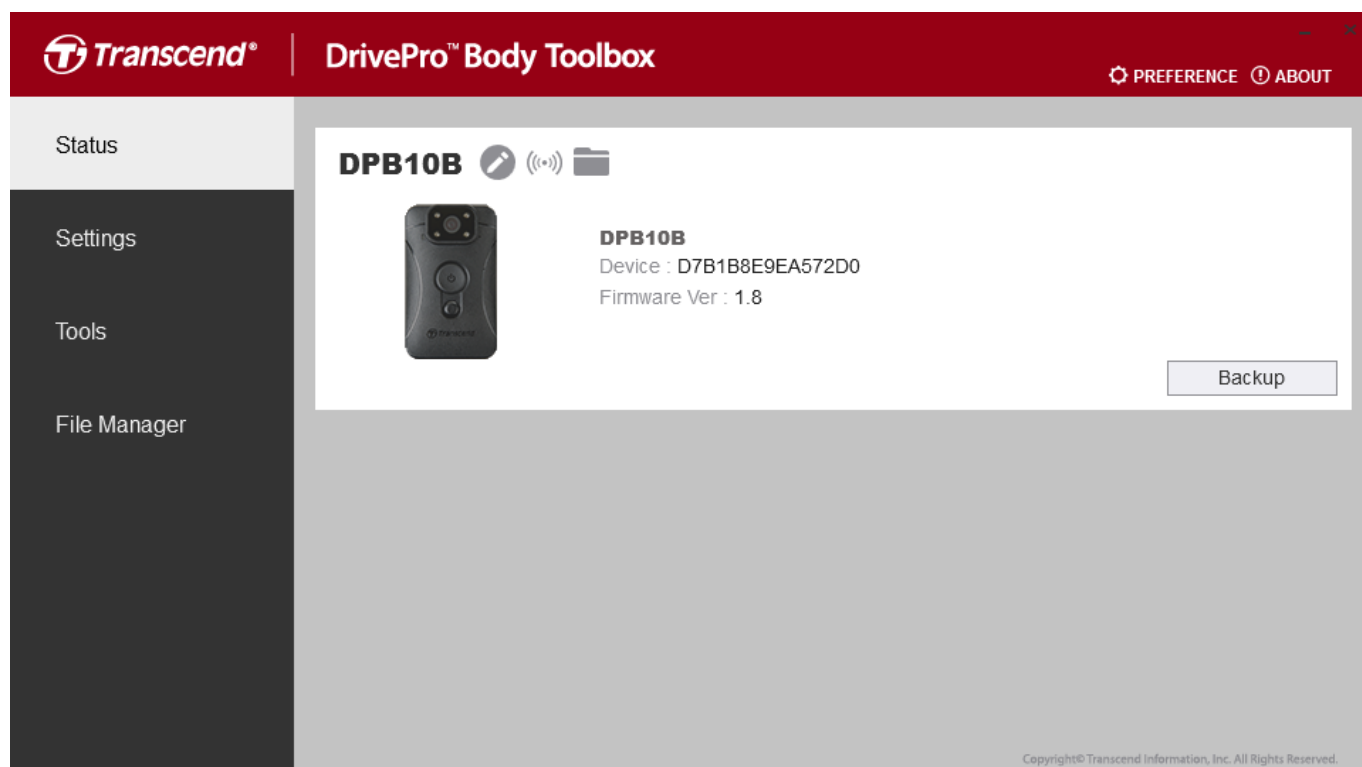
2. DrivePro Body Toolbox ソフトウェアをデスクトップやノート PC にインストールします。

● Windows 7 / 8 / 10

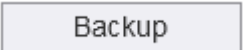
■ ステータス

DrivePro Body のシリアル番号、ファームウェアバージョン、ユーザーレーベル、モデル名などの基

本情報を確認できます。



ユーザーレーベルを変更するには  をクリックします。

バックアップを開始するには  をクリックします。

録画ファイルの再生やスナップショットファイルの閲覧には  をクリックします。

■ 設定

DrivePro Body の設定が変更できます。

デバイス設定

PC との同期: DrivePro Body の日時設定を自動的に接続している PC と同期します。

LED 表示: DrivePro Body の LED 表示を設定します。

オプション: オン / オフ

ブザー: DrivePro Body のブザーを設定します。

オプション: オン / オフ

スナップショットボタン: スナップショット撮影ボタンを長押しした場合の動作を設定します。

オプション: 赤外線 LED / オーディオレコーディング

オーディオサンプルレート: オーディオのサンプルレートを設定します。

オプション: 48000 Hz / 44100 Hz / 32000 Hz / 24000 Hz / 22050 Hz

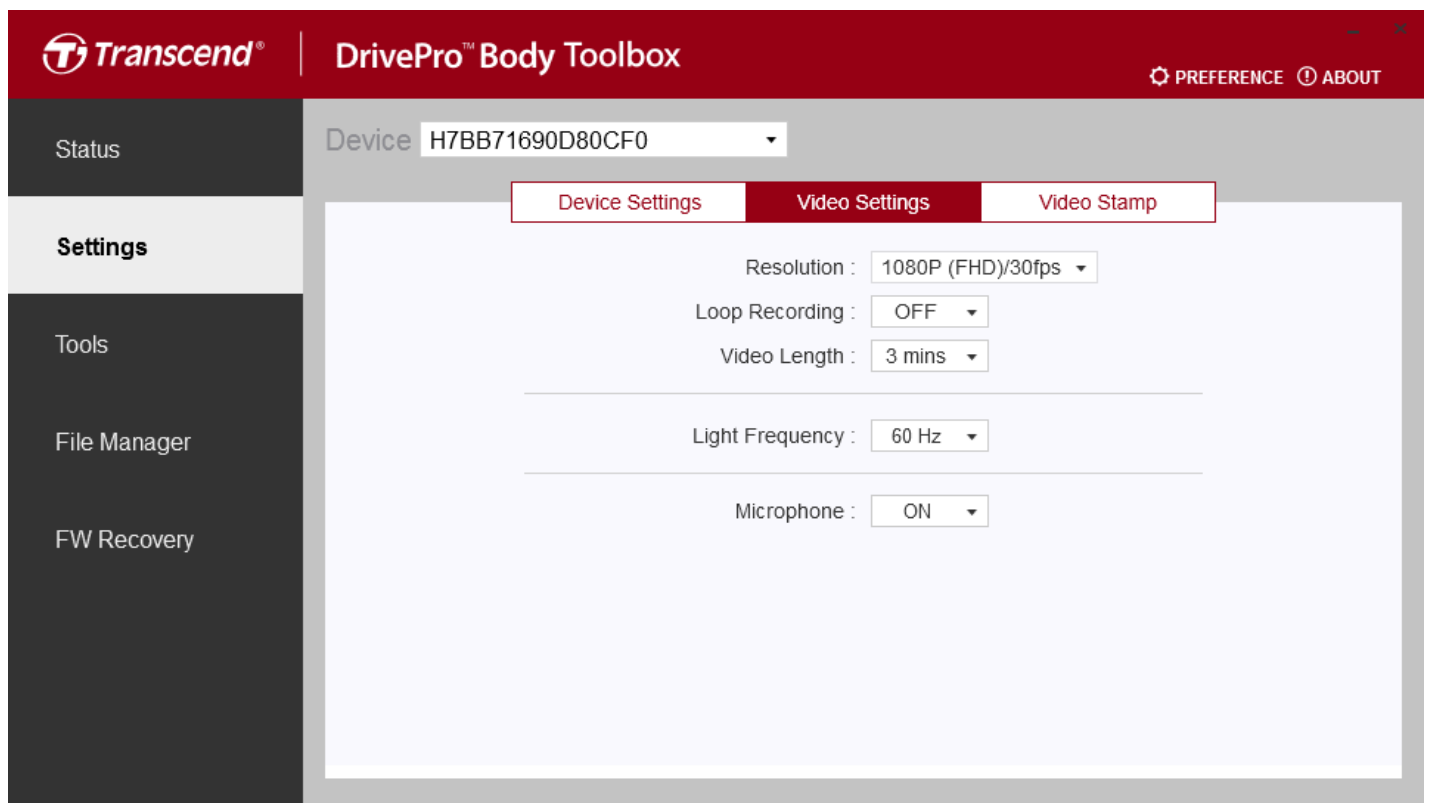
赤外線 LED: 赤外線 LED の作動を手動または自動で行うかを設定します。

オプション: 手動 / 自動

ボタン操作によるリセット: 電源ボタンとスナップショット撮影ボタンを同時に 5 秒間押すことで DrivePro Body をフォーマットしてリセットできるようにするか設定します。

オプション: オン / オフ

動画設定



解像度: 録画の解像度を設定します。

オプション: 1080P (FHD)/60fps / 1080P (FHD)/30fps / 720P (HD)/60fps / 720P (HD)/30fps
(2019 年 9 月以前に生産されたモデルにはこのオプションがありません。)

ループ録画: メモリカードの空き容量がなくなった場合に古いファイルを削除して録画を続けるかを設定します。

オプション: 無効 / 有効

録画時間: 録画ファイルの録画時間を設定します。

オプション: 3 分 / 5 分 / 10 分

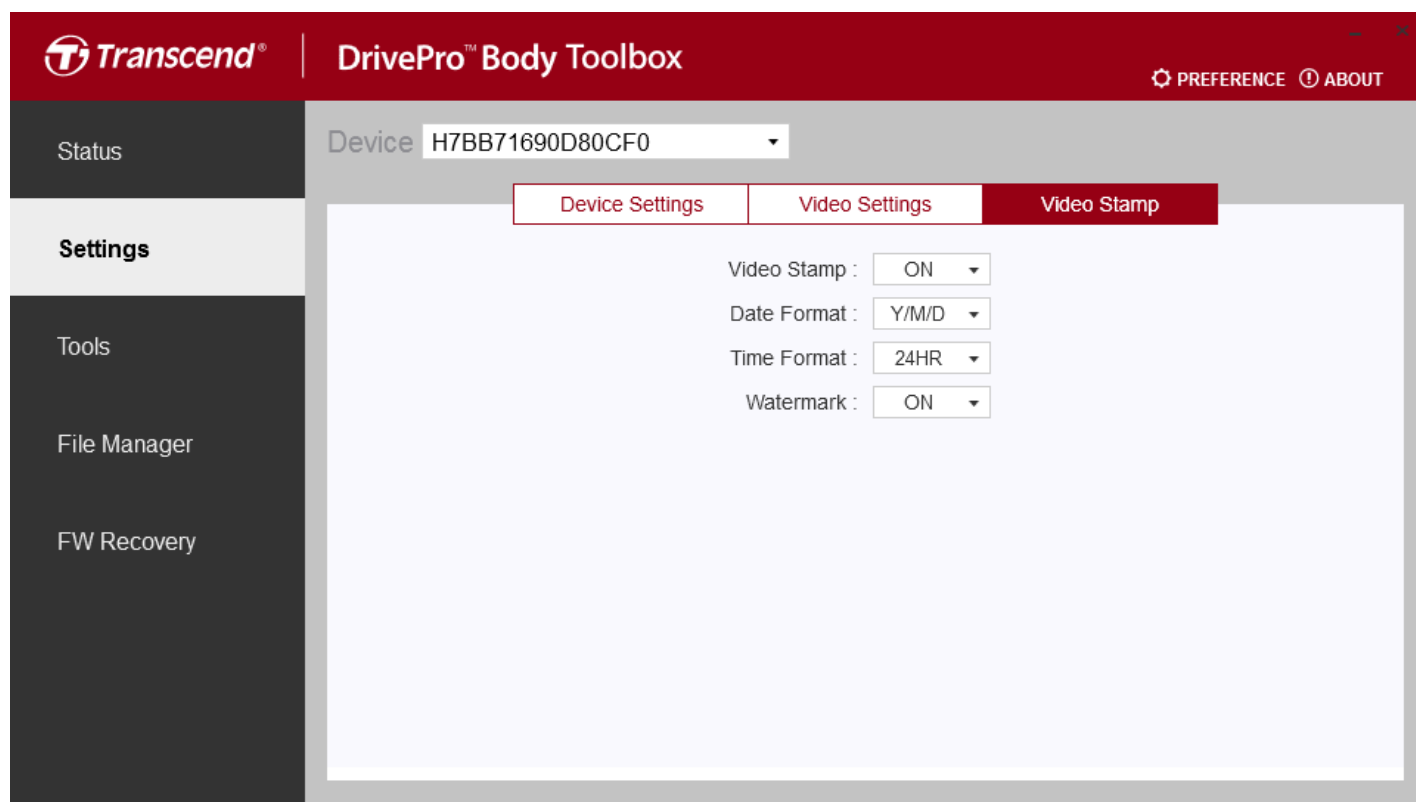
ライト周波数: 交流ライト点滅を軽減させるために適度な周波数を選択します。日本では、西日本の 60Hz 地域では 60Hz に、東日本の 50Hz 地域では 50Hz に設定してください。

オプション: 50Hz / 60Hz

マイク: 録画時のマイクを設定します。

オプション: オン / オフ

動画スタンプ



動画スタンプ: 録画中の日時とレーベルを表示します。

オプション: オン / オフ

日付フォーマット: 日付の表示形式を設定します。

オプション: Y/M/D / M/D/Y / D/M/Y

時刻フォーマット: 時刻の表示形式を設定します。

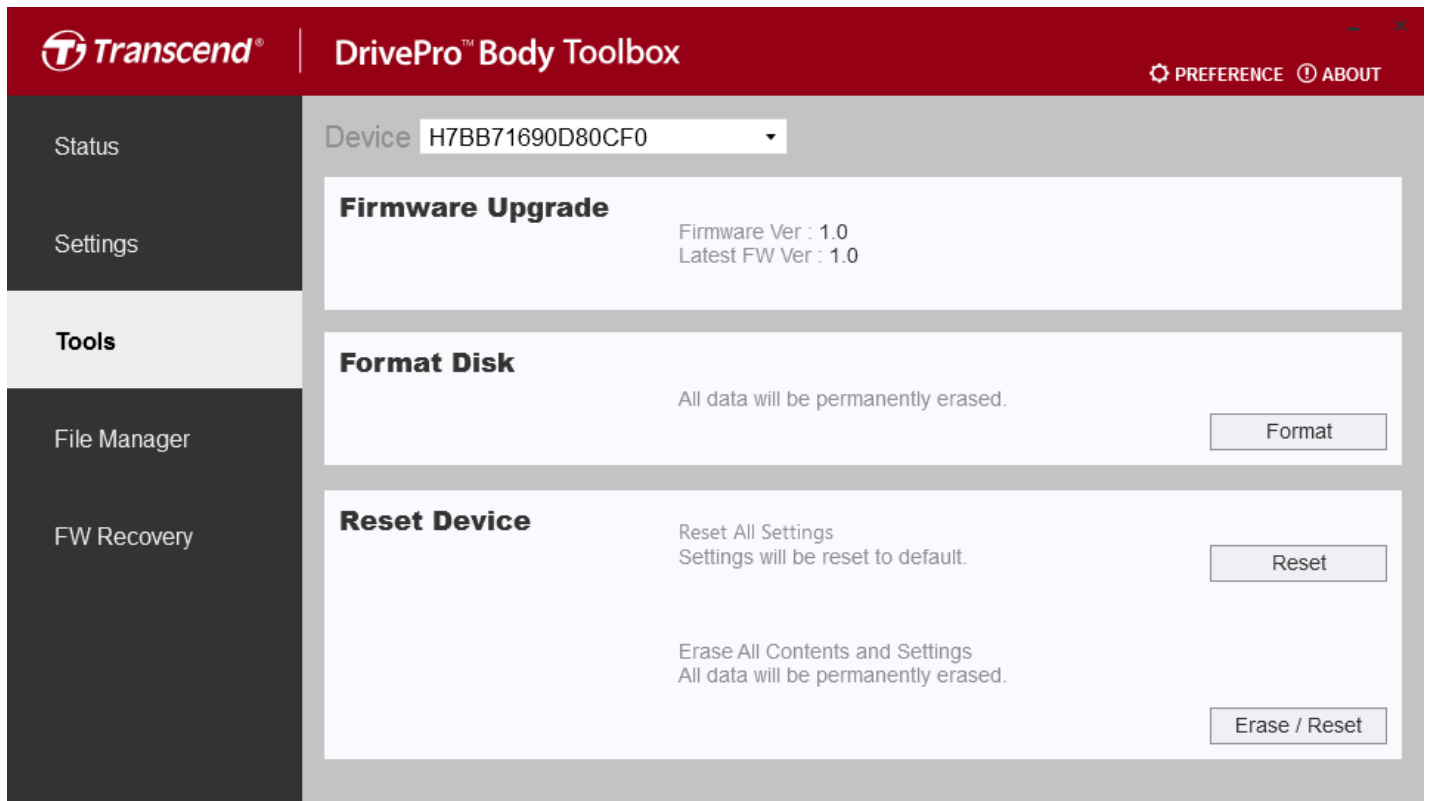
オプション: 24HR / AM/PM

ウォーターマーク: 録画映像のウォーターマークの表示を設定します。

オプション: オン / オフ

■ ツール

ファームウェアの更新、ディスクのフォーマット、DrivePro Body の初期化が行えます。



注記: フォーマットや初期化を行うと保存されているデータは消去されます。

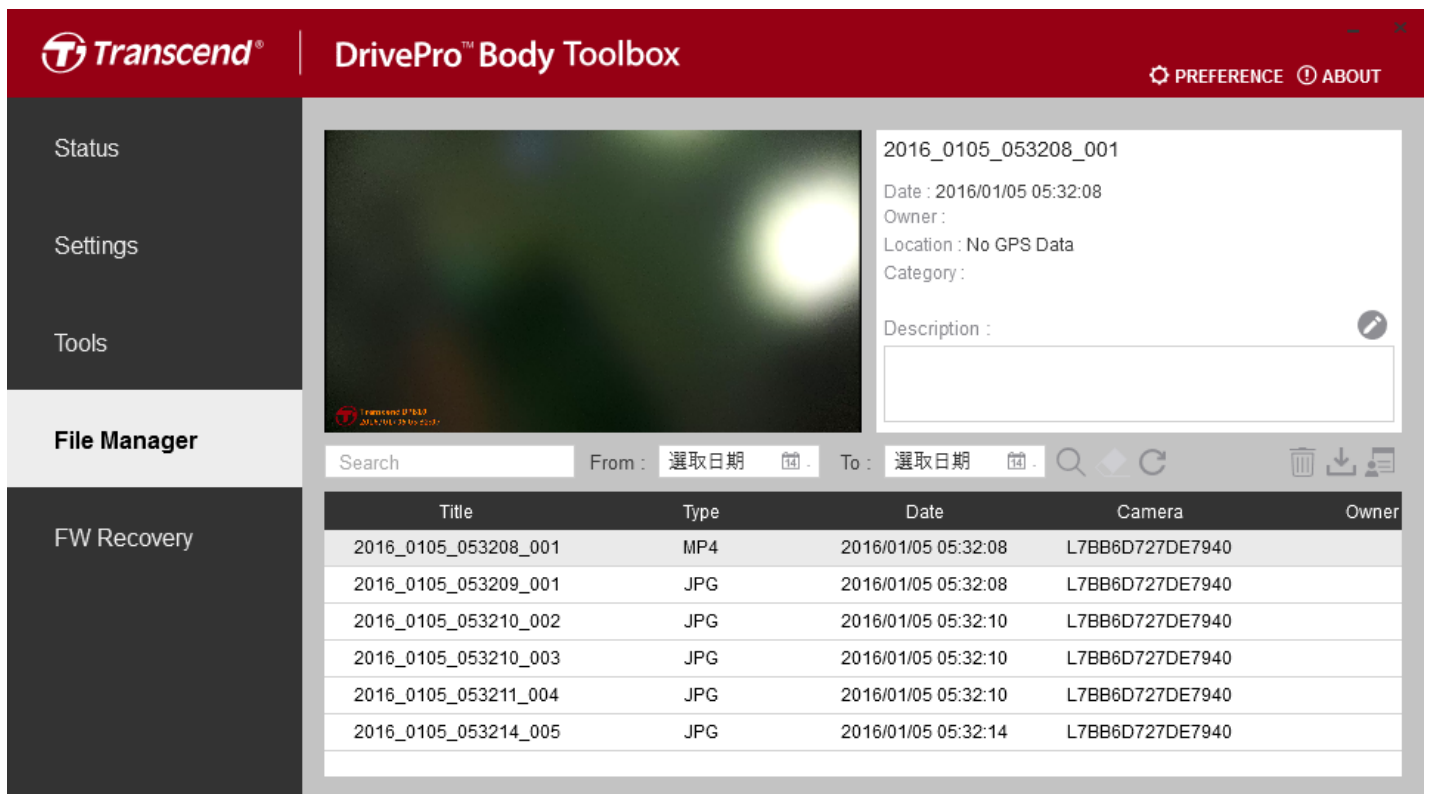
ファームウェアの更新: ファームウェアを最新のバージョンに更新します。

ディスクのフォーマット: フォーマットを行います。

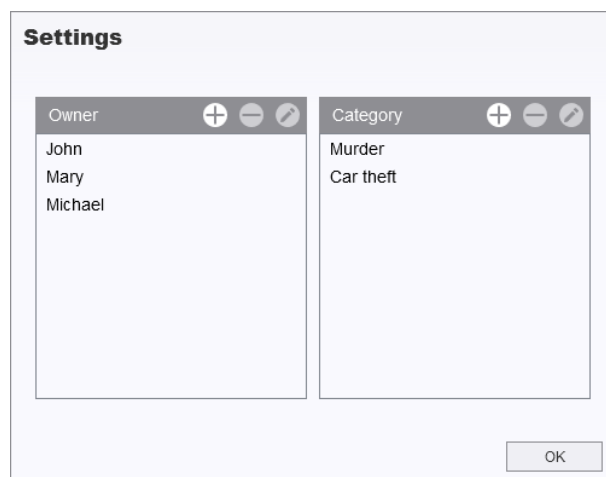
デバイスのリセット: 全ての設定を初期状態に戻し、保存データを消去します。

■ ファイル管理

録画やスナップショットファイルの検索/編集/エクスポートができます。



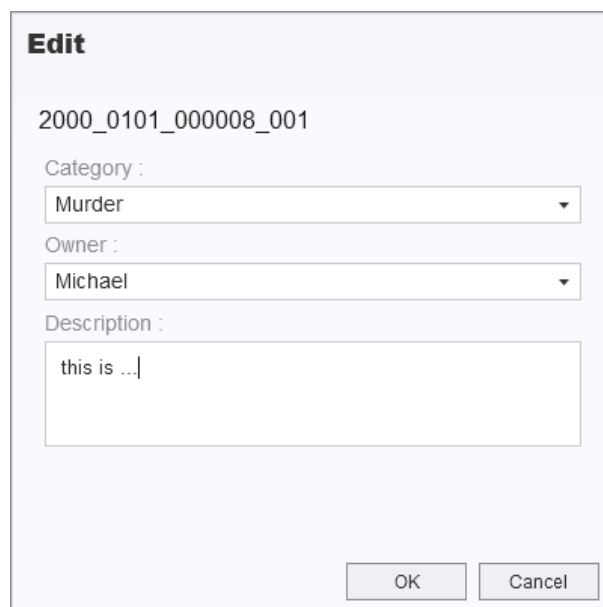
オーナーや分類を追加/削除/編集するにはページの中段にある  をクリックします。



The Settings dialog box contains two panels. The 'Owner' panel has a title bar with '+', '-', and edit icons, and lists 'John', 'Mary', and 'Michael'. The 'Category' panel has a title bar with '+', '-', and edit icons, and lists 'Murder' and 'Car theft'. An 'OK' button is at the bottom right.

Owner	Category
John	Murder
Mary	Car theft
Michael	

選択したファイルのオーナーや分類を設定するには  をクリックします。



The Edit dialog box shows a file ID '2000_0101_000008_001'. It has dropdown menus for 'Category' (set to 'Murder') and 'Owner' (set to 'Michael'). A text area for 'Description' contains 'this is ...'. 'OK' and 'Cancel' buttons are at the bottom.

2000_0101_000008_001

Category :
Murder

Owner :
Michael

Description :
this is ...|

■ 詳細設定

ページの上部の **⚙️ PREFERENCE** をクリックすると、DrivePro Body Toolbox の設定が変更できます。

The image displays three screenshots of the 'Preference' dialog box for DrivePro Body Toolbox, showing different tabs: System, Backup, and Device.

System Tab:

- ☐ Run on Windows startup
- ☐ Run minimized
- Language: English ▼
-

Backup Tab:

- ☐ Auto back up
- ☐ Format disk after backup is completed
- ☐ Secure Data
- Backup Folder Naming Methods
 - ☒ Device ID ☐ User label
- Path of backup: D:\DriveProBody\backup
-

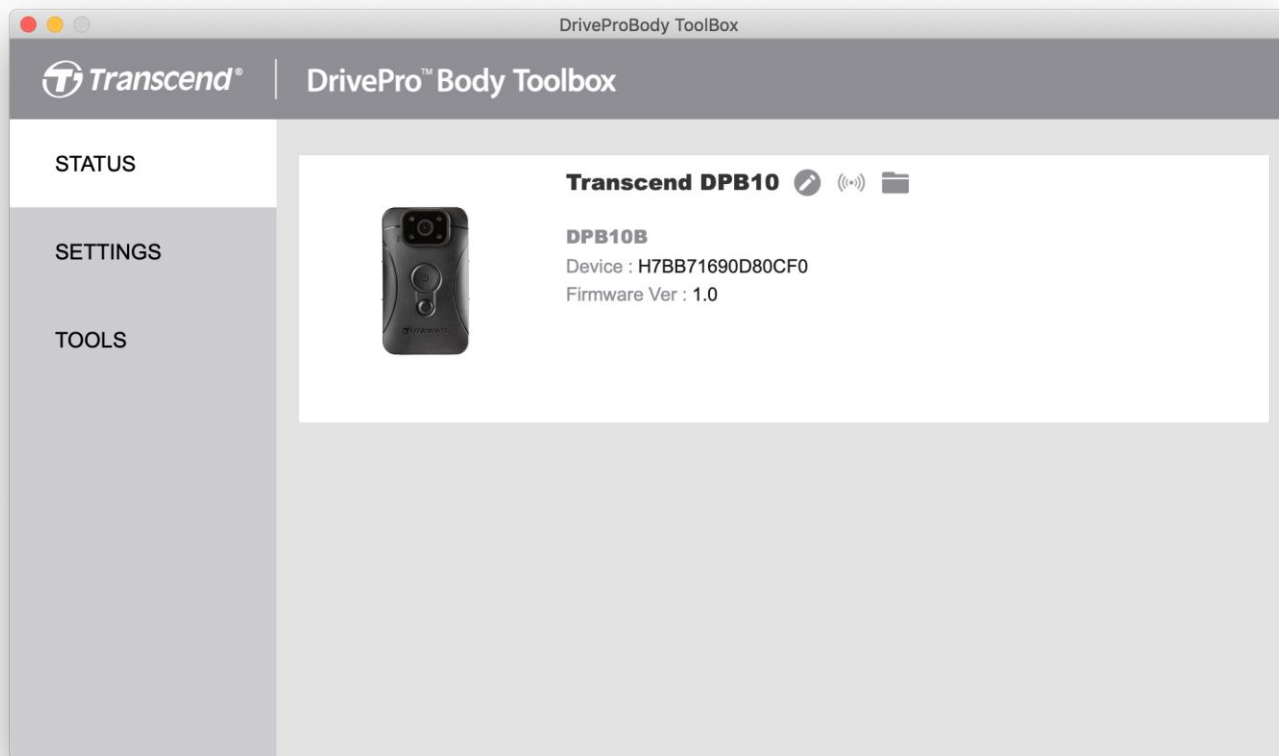
Device Tab:

- ☐ Auto sync time with PC
-

- macOS® 10.14 以降

- ステータス

DrivePro Body のシリアル番号、ファームウェアバージョン、ユーザーレーベル、モデル名などの基本情報を確認できます。



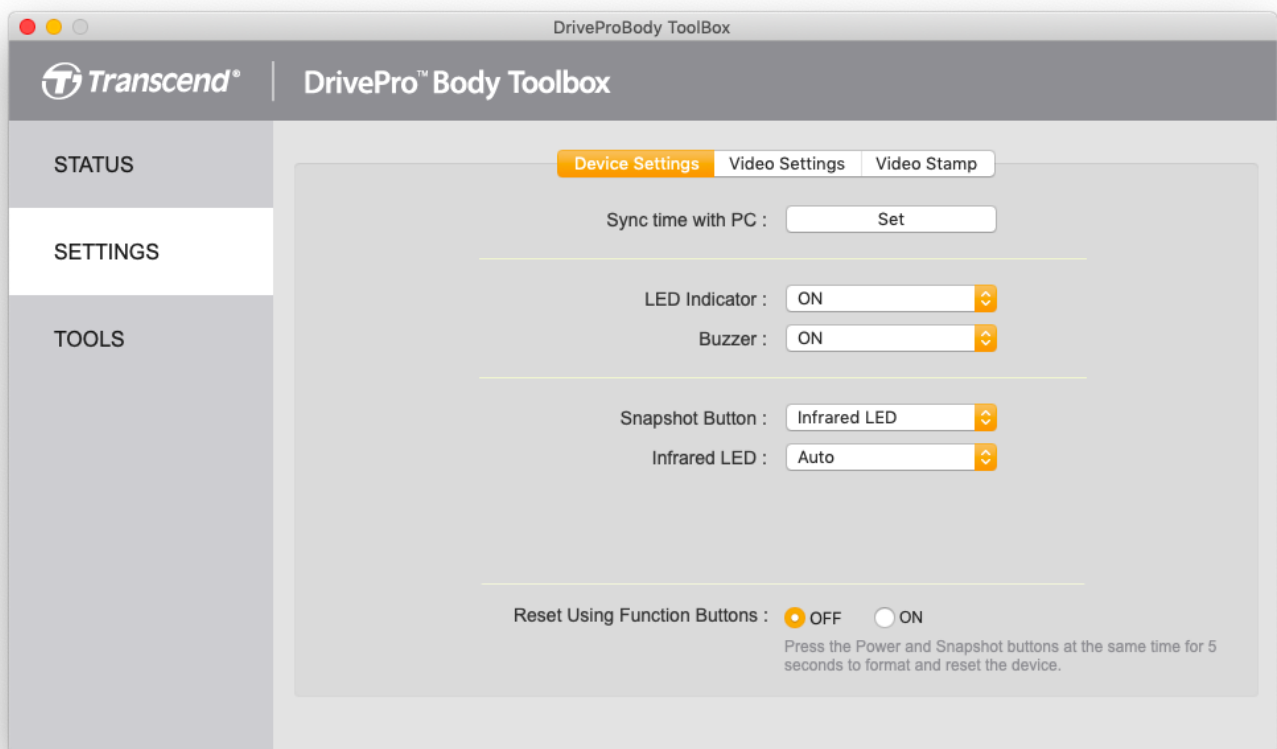
ユーザーレーベルを変更するには  をクリックします。

録画ファイルの再生やスナップショットファイルの閲覧には  をクリックします。

■ 設定

DrivePro Body や動画の設定が変更できます。

デバイス設定



PC との同期: DrivePro Body の日時設定を自動的に接続している PC と同期します。

LED 表示: DrivePro Body の LED 表示を設定します。

オプション: オン / オフ

ブザー: DrivePro Body のブザーを設定します。

オプション: オン / オフ

スナップショットボタン: スナップショット撮影ボタンを長押しした場合の動作を設定します。

オプション: 赤外線 LED / オーディオレコーディング

オーディオサンプルレート: オーディオのサンプルレートを設定します。

オプション: 48000 Hz / 44100 Hz / 32000 Hz / 24000 Hz / 22050 Hz

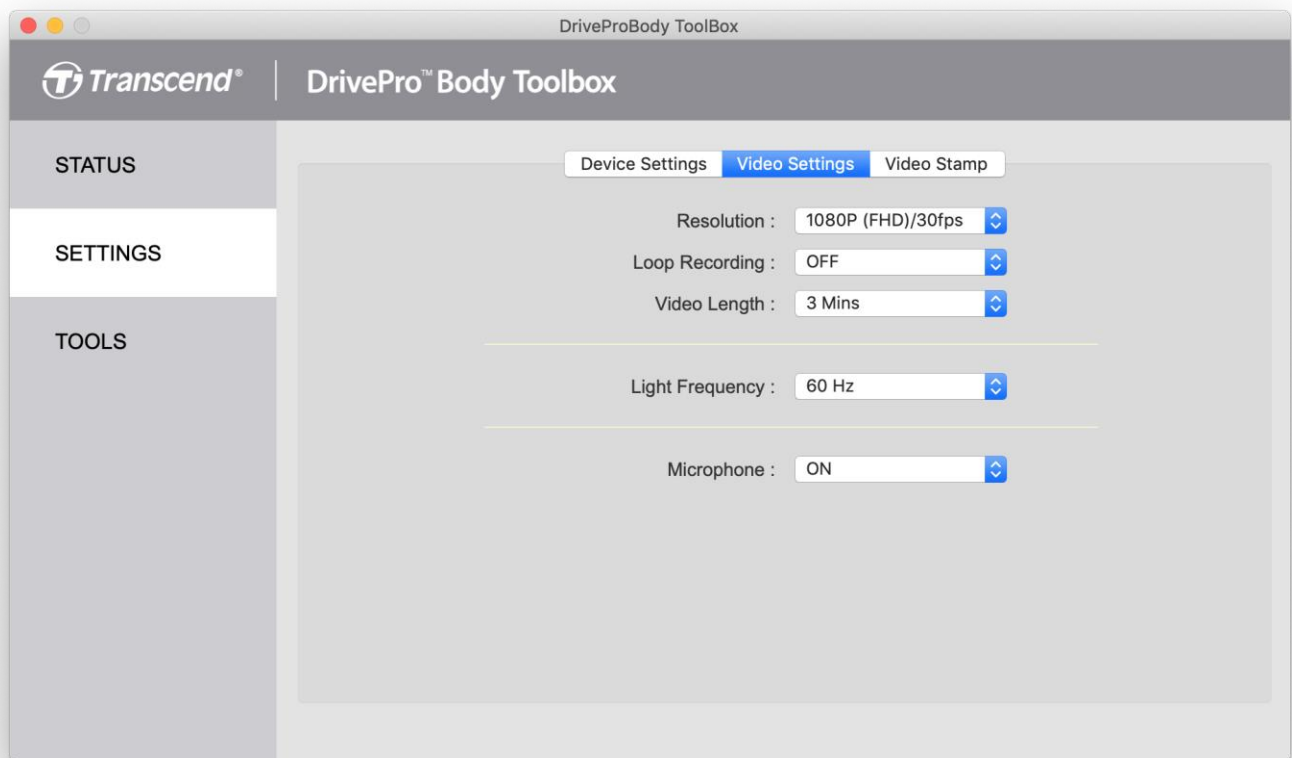
赤外線 LED: 赤外線 LED の作動を手動または自動で行うかを設定します。

オプション: 手動 / 自動

ボタン操作によるリセット: 電源ボタンとスナップショット撮影ボタンを同時に 5 秒間押すことで DrivePro Body をフォーマットしてリセットできるようにするか設定します。

オプション: オン / オフ

動画設定



解像度: 録画の解像度を設定します。

オプション: 1080P (FHD)/60fps / 1080P (FHD)/30fps / 720P (HD)/60fps / 720P (HD)/30fps
(2019 年 9 月以前に生産されたモデルにはこのオプションがありません。)

ループ録画: メモリカードの空き容量がなくなった場合に古いファイルを削除して録画を続けるかを設定します。

オプション: 無効 / 有効

録画時間: 録画ファイルの録画時間を設定します。

オプション: 3 分 / 5 分 / 10 分

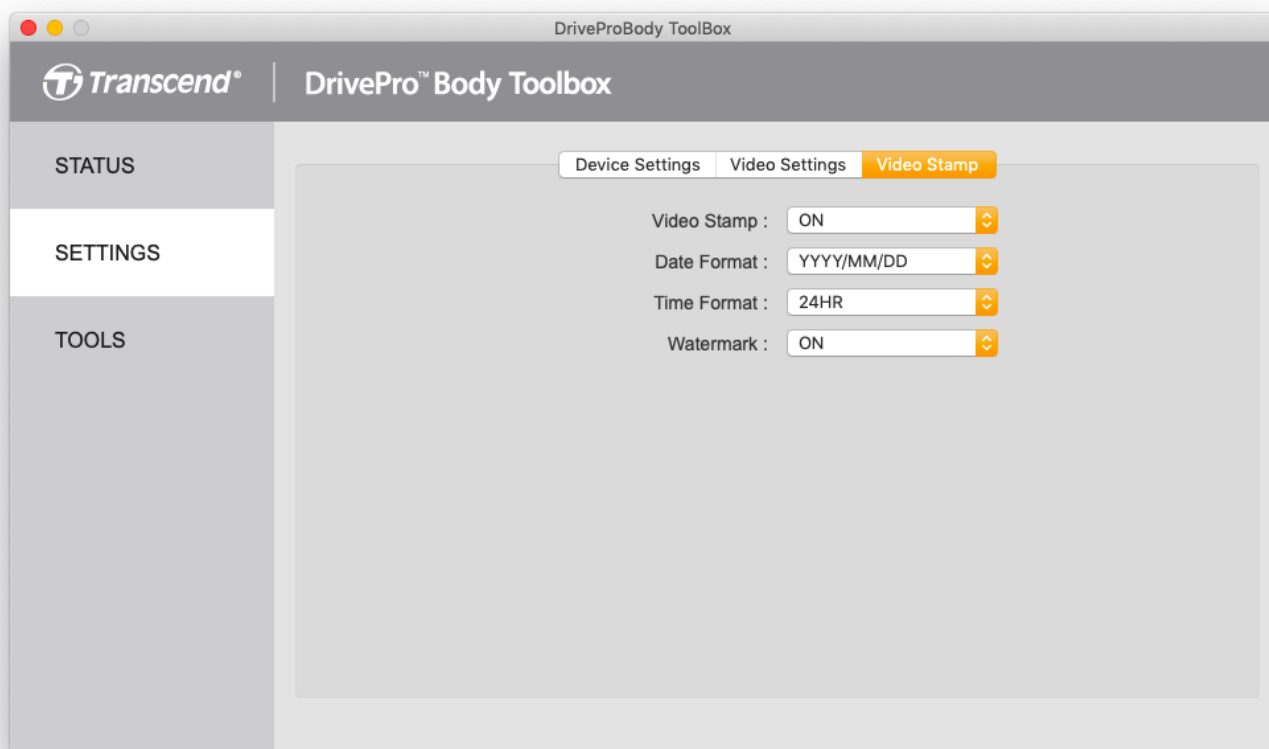
ライト周波数: 交流ライト点滅を軽減させるために適度な周波数を選択します。日本では、西日本の 60Hz 地域では 60Hz に、東日本の 50Hz 地域では 50Hz に設定してください。

オプション: 50Hz / 60Hz

マイク: 録画時のマイクを設定します。

オプション: オン / オフ

動画スタンプ



動画スタンプ: 録画中の日時とレーベルを表示します。

オプション: オン / オフ

日付フォーマット: 日付の表示形式を設定します。

オプション: YYYY/MM/DD / MM/DD/YYYY / DD/MM/YYYY

時刻フォーマット: 時刻の表示形式を設定します。

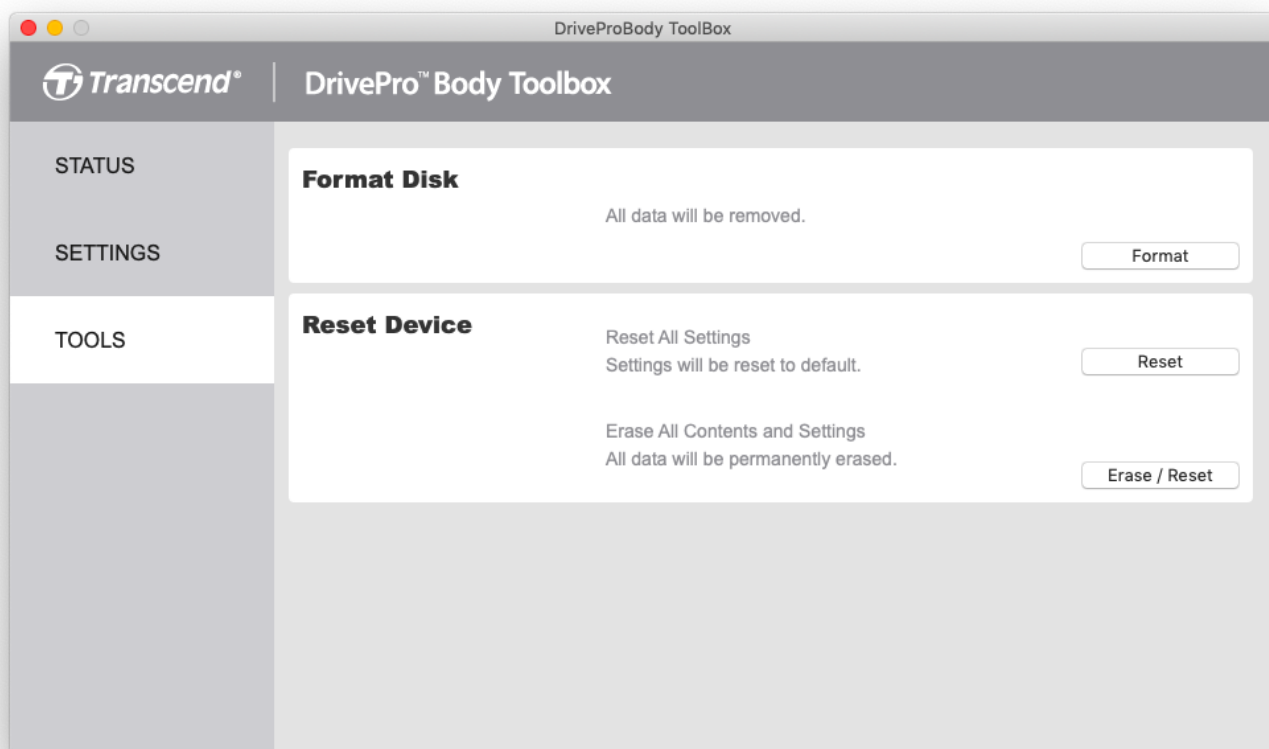
オプション: 24HR / AM/PM

ウォーターマーク: 録画映像のウォーターマークの表示を設定します。

オプション: オン / オフ

■ ツール

ディスクのフォーマット、DrivePro Body の初期化が行えます。



注記: フォーマットや初期化を行うと保存されているデータは消去されます。

ディスクのフォーマット: フォーマットを行います。

デバイスのリセット: 全ての設定を初期状態に戻し、保存データを消去します。

7. 注意事項

■ 誤動作や変形を防ぐために DrivePro Body 10 を以下の場所で使用したり、保管しないようにしてください。

- 青空駐車している車の中など、非常に高温または低温の環境下
- 直射日光が当たる場所、暖房機器の近く、湿度の高い場所
- 強い磁気が発生している周辺
- 砂やほこりの多い場所

■ DrivePro Body 10 のレンズの手入れと保管

- 以下の状況時、柔らかい布などでレンズの表面を拭いてください。
 - レンズの表面に指紋がついたとき
 - 海辺など潮風にレンズがさらされたとき
- 汚れや埃がつかないように換気のよい場所に保管してください。
- かびが付かないようにレンズを定期的に上記の様に拭いてきれいにしてください。

■ クリーニング

DrivePro Body 10 の表面を少し水で湿らせた柔らかい布などでクリーニングし、その後乾いた布で拭きます。キズをつけないよう、以下にご注意ください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、使い捨て布、虫除け、日焼け止め、殺虫剤などの化学薬品/製品は使わない。
- 上記などの化学薬品がついた手で DrivePro Body 10 に触れない。
- DrivePro Body 10 がゴムやビニールなどと接触した状態で長時間放置しない。

■ 結露

DrivePro Body 10を寒い場所から暖かい場所(もしくは暖かい場所から冷たい場所)に移した場合、カメラの内外に結露が生じることがあります。結露が生じるとDrivePro Body 10の機能不良が発生する原因になることがあります。

結露が発生した場合は、DrivePro Body 10 の電源を切り、水分が蒸発して乾くまで待ってから使用してください。

8. IPX4 生活防水

DrivePro Body 10 のカメラ本体は IPX4 規格相当の生活防水です。(完全防水ではありません) 水の飛沫に対して保護されている防沫形ですが、シャワーや水道などの圧力のある水からは保護できません。



注意: USB ケーブルに接続している場合、DrivePro Body 10 は防水ではありません。

不正な使用に起因する不具合は保証の対象となりません。

- DrivePro Body 10 は完全防水ではありませんので水中での使用はできません。
- メモリカードのカバーはしっかり閉じてください。(カバーをきちんと閉じないと、水分がカメラ内部に浸透する恐れがあります。濡れた手でカバーを開けたり閉めたりしないでください。)
- DrivePro Body 10 を高温もしくは多湿の環境で使用しないでください。(例：サウナ、スチーム、シャワールームなど)
- 湿気の浸透を避けるため、DrivePro Body 10 を雨の中で長時間使用しないでください。

9. パッケージ内容

DrivePro Body 10 のパッケージには以下が同梱されています。

- DrivePro Body 10



- 電源アダプタ



- マイクロ USB ケーブル



- 32GB microSD カード(DrivePro Body に挿入済み)



- マジックテープ

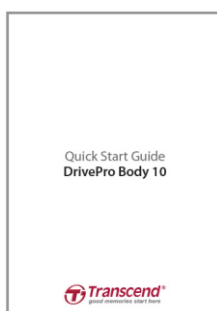


■ 回転クリップ&マジックテープホルダー



注記: DrivePro Body をクリップ/ホルダーから取り外す場合は、左から右方向に引っ張るようにしてください。取り付けの際は DrivePro Body がクリップ/ホルダーにしっかりと固定されていることを確認してください。

■ Quick Start Guide (クイック操作ガイド)



10.仕様

	DrivePro Body 10 (2019 年 9 月以前に生産*)	DrivePro Body 10 (2019 年 10 月以降に生産*)
接続インターフェース	USB 2.0	
対応メモ리카ード	microSD 8GB / 16GB / 32GB (Class 10 以上)	ウェブサイトの製品仕様を参照ください。
サイズ	88.4 mm (L) × 52.2 mm (W) × 19.6 mm (H)	
重量	88g (ホルダー装着時は 124g)	
バッテリー	リチウムポリマー	
電源供給	入力: AC100V-240V, 50-60Hz, 最大 0.4A 出力: DC5V/2A	
動作環境温度	-20°C ~ 60°C -20°C ~ 45°C (電源アダプタ使用の充電)	
動画フォーマット	H.264 (MP4: 最大 1920x1080 30fps)	H.264 (MP4: 最大 1920x1080 60fps)
IP 保護等級	IPX4 相当(防沫形)	
耐衝撃性	MIL-STD-810G 516.6-Transit Drop Test 規格相当	
レンズ	F/2.8, 130°ワイドアングル	
解像度 / フレームレート	フル HD (1920 x 1080) / 30fps	フル HD (1920 x 1080) / 60fps フル HD (1920 x 1080) / 30fps (デフォルト) HD (1280 x 720) / 60fps HD (1280 x 720) / 30fps
認証	CE, FCC, BSMI	
保証	2年	

*使用している製品の生産日については販売店、サービスセンター又は現地のトランセンドオフィスまでお問い合わせください。

11. よくある質問

もし DrivePro Body 10 に問題が発生したり質問がある場合は修理に出す前に先ず下記の項目をチェックしてください。以下に質問の答えや解決方法がない場合は販売店、サービスセンター又は現地のトランセンドオフィスまでお問い合わせください。ウェブサイト(<http://jp.transcend-info.com/>)から製品情報が参照でき、以下よりテクニカルサポートと連絡することができます。

http://jp.transcend-info.com/Support/contact_form

■ マイコンピュータでOSがDrivePro Body 10を認識しません

以下の項目をチェックしてください。

1. DrivePro Body 10が正しくUSBポートに接続されていますか。接続されていない場合は、一度取り外してから再度接続してください。
2. DrivePro Body 10がMacのキーボードに接続されていませんか。接続されている場合は、キーボードから取り外してMac本体のUSBポートに接続してください。
3. そのUSBポートは利用可能ですか。利用可能でない場合は、ご使用のPC（又はマザーボード）のマニュアルを参照して利用可能な状態にしてください。

■ DrivePro Body 10 のボタン操作ができません

ペーパークリップのような先の細いものを使って本体下部にあるリセットボタンを長押ししてください。

■ DrivePro Body 10 は耐衝撃性で防水性ですか？

DrivePro Body 10 は IPX4 規格相当の生活防水能力、および米軍標準の厳格な落下試験規格相当の耐衝撃性をもっています。*

*完全防水ではありません。水中使用はできません。

*MIL-STD-810G 516.6-Transit 落下試験条件を参考に自社で試験を実施しています。

■ DrivePro Body 10 は夜間の録画もできますか？

はい。DrivePro Body 10 は夜間や光量の少ない状況では自動的に赤外線 LED が作動するため、撮影が行えます。ただし、赤外線 LED での録画やスナップショット撮影は白黒表示となります。

12. リサイクルと環境への配慮



製品のリサイクル(WEEE): 本製品はリサイクルまたは再使用が可能な高品質の部材を使用して設計および製造されています。車輪付きゴミ箱にバツ印の入ったマークはWEEE指令対象製品であることを示しています。

電気・電子機器を廃棄する際には、販売店による引取りなど、必ず各国の法律に従ってください。環境や健康に悪影響を及ぼす可能性がありますので、古くなった製品は適切な方法で廃棄するようにしてください。



バッテリーの廃棄: このマークはEU新電池指令(2006/66/EC)に該当する充電式バッテリーを内蔵している製品に表示されており、適切な方法で廃棄する必要があります。

バッテリーを廃棄する際には、必ず各国の法律に従ってください。環境や健康に悪影響を及ぼす可能性がありますので、バッテリーは適切な方法で廃棄するようにしてください。

取替え不可なバッテリーが内蔵されている製品についてはバッテリーを取り外す(または取り外そうとする)と保証が無効となります。製品を廃棄する際に取り外して適切に廃棄してください。

13. 保証規定

“枠を越えて、更に上に”はトランセンドのカスタマーサービスにおける姿勢です。私たちは常に自身を業界基準よりも高い位置に置くように心がけています。それはお客様の満足を得られるための私たちの義務だと思っております。

トランセンドの製品は全て保証付きで、不良品のないようにテストを受け、公示している仕様に準拠していることを確認しています。トランセンドのDrive Pro Body 10が、推奨された環境において通常の使用をしている間に、製造や部品の不備のせいで不具合が起きた場合、保証期間内であれば修理もしくは同等の製品との交換を行います。ここでは保証の条件と制限事項について述べます。

保証期間: トランセンドの Drive Pro Body 10 の保証は、購入日から 2 年間有効です。保証サービスを受けるには、購入日を証明するものが必要となります。トランセンドは製品を検査し、修理可能であるか、交換が適当であるかどうかを査定します。修理か交換の決定はトランセンドにお任せください。トランセンドでは該当製品と機能的に同等である製品と交換する権利も保有させていただきます。

制限事項: 本保証は、事故、不正扱い、酷使、不正な取付け、改造、天災、間違った使用、電気的問題などによる不良には適応いたしません。また、製品ケースの取り外し、品質シールや製品シリアル番号を含めた製品表面の物理的ダメージ、誤用、改変が認められる製品の保証はいたしません。トランセンドは、ハードディスクやフラッシュメモリデバイスの故障によるいかなるデータの損失について復旧の責任を負いません。トランセンドの Drive Pro Body 10 は業界基準に沿っていることが確認されたデバイスと一緒にご使用してください。トランセンドはサードパーティのデバイスとの併用で生じたトランセンド製品不具合によるダメージについての責任を負わないこととします。また、後発的、間接的又は偶発的なダメージや、負債、投資の損失、データの損失によるビジネス被害などについても一切の責任を負わないこととします。また、サードパーティの装置のダメージや故障については、その可能性を認知していたとしても責任を負いません。

おねがい

- 故障品の修理/交換の受け付けは弊社に送付いただくことで受け付けております。弊社より返送時は弊社負担ですがご送付いただく際は送料をご負担ください。
- 本製品は将来改良の為予告なく変更する場合があります。
- 本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにお問い合わせください。



Transcend Information, Inc.

www.transcend-info.com

*TranscendロゴはTranscend Information, Inc.の登録商標です。

*すべてのロゴとマークは各社の商標です。

*ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。

14. GNU General Public License (GPL) Disclosure

Firmware incorporated into this product and/or software used for this product may include third party copyrighted software licensed under the GPL (hereinafter referred to as "GPL Software"). In accordance with the GPL, if applicable: 1) the source code for the GPL Software may be downloaded at no charge or obtained on CD for a nominal charge by calling Customer Support within three years of the date of purchase; 2) you may copy, re-distribute and/or modify the GPL Software under the terms of the GNU General Public License as below or any later version, which may be obtained at <http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>; 3) the GPL Software is distributed WITHOUT ANY WARRANTY, without even implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. The entire risk as to the quality and performance of the GPL Software is with you. Transcend does not provide any support for the GPL software.

15. End-User License Agreement (EULA)

Software license terms and conditions

1. Generally. Transcend Information, Inc. ("Transcend") is willing to grant the following license to install or use the software and/or firmware ("Licensed Software") pursuant to this End-User License Agreement ("Agreement"), whether provided separately or associated with a Transcend product ("Product"), to the original purchaser of the Product upon or with which the Licensed Software was installed or associated as of the time of purchase ("Customer") only if Customer accepts all of the terms and conditions of this Agreement. PLEASE READ THESE TERMS CAREFULLY. USING THE SOFTWARE WILL CONSTITUTE CUSTOMER'S ACCEPTANCE OF THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT. IF YOU DO NOT AGREE TO THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT, DO NOT INSTALL OR USE THE LICENSED SOFTWARE.

2. License Grant. Transcend grants to Customer a personal, non-exclusive, non-transferable, non-distributable, non-assignable, non-sublicensable license to install and use the Licensed Software on the Product in accordance with the terms and conditions of this Agreement.

3. Intellectual Property Rights. As between Transcend and Customer, the copyright and all other intellectual property rights in the Licensed Software are the property of Transcend or its supplier(s) or licensor(s). Any rights not expressly granted in this License are reserved to Transcend.

4. License Limitations. Customer may not, and may not authorize or permit any third party to: (a) use the Licensed Software for any purpose other than in connection with the Product or in a manner inconsistent with the design or documentations of the Licensed Software; (b) license, distribute, lease, rent, lend, transfer, assign or otherwise dispose of the Licensed Software or use the Licensed Software in any commercial hosted or service bureau environment; (c) reverse engineer, decompile, disassemble or attempt to discover the source code for or any trade secrets related to the Licensed Software, except and only to the extent that such activity is expressly permitted by applicable law notwithstanding this limitation; (d) adapt, modify, alter, translate or create any derivative works of the Licensed Software; (e) remove, alter or obscure any copyright notice or other proprietary rights notice on the Licensed Software or Product; or (f) circumvent or attempt to circumvent any methods employed by Transcend to control access to the components, features or functions of the Product or Licensed Software.

5. Copying. Customer may not copy the Licensed Software except that one copy of any separate software component of the Licensed Software may be made to the extent that such copying is necessary for Customer's own backup purposes.

6. Open Source. The Licensed Software may contain open source components licensed to Transcend pursuant to the license terms specified as below,

- (a) GNU General Public License (GPL), the terms of which is currently available at <http://www.gnu.org/licenses/gpl.html> ;
- (b) GNU Lesser General Public License (LGPL), the terms of which is currently available at <http://www.gnu.org/copyleft/lesser.html> ; and/or
- (c) Code Project Open License (CPOL), the terms of which is currently available at <http://www.codeproject.com/info/cpol10.aspx>

The above license terms will control solely with respect to the open source components. In the event that this Agreement conflicts with the requirements of the above one or more terms with respect to the use of the corresponding open source components, Customer agrees to be bound by such one or more license terms.

7. Disclaimer. TRANSCEND MAKES NO WARRANTY AND REPRESENTATIONS ABOUT THE SUITABILITY, RELIABILITY, AVAILABILITY, TIMELINESS, LACK OF VIRUSES OR OTHER HARMFUL COMPONENTS AND ACCURACY OF THE INFORMATION, LICENSED SOFTWARE, PRODUCTS, SERVICES AND RELATED GRAPHICS CONTAINED WITHIN THE LICENSED SOFTWARE FOR ANY PURPOSE. ALL SUCH INFORMATION, LICENSED SOFTWARE, PRODUCTS, SERVICES AND RELATED GRAPHICS ARE PROVIDED "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND. TRANSCEND HEREBY DISCLAIMS ALL WARRANTIES AND CONDITIONS WITH REGARD TO THIS INFORMATION, LICENSED SOFTWARE, PRODUCTS, SERVICES AND RELATED GRAPHICS, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES AND CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WORKMANLIKE EFFORT, TITLE, AND NON-INFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL TRANSCEND BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, PUNITIVE, INCIDENTAL, SPECIAL, CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, ARISING OUT OF OR IN ANY WAY CONNECTION WITH THE USE, PERFORMANCE OR ACCURACY OF THE LICENSED SOFTWARE OR WITH THE DELAY OR INABILITY TO USE THE LICENSED SOFTWARE, OR THE PRODUCT WITH WHICH THE LICENSED SOFTWARE IS ASSOCIATED, WHETHER BASED ON CONTRACT, TORT, NEGLIGENCE, STRICT LIABILITY OR OTHERWISE, EVEN IF TRANSCEND HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

8. Limitation of Liability. IN ANY CASE, TRANSCEND 'S LIABILITY ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THIS AGREEMENT WILL BE LIMITED TO THE TOTAL AMOUNT ACTUALLY AND ORIGINALLY PAID AT RETAIL BY CUSTOMER FOR THE PRODUCT. The foregoing Disclaimer and Limitation of Liability will apply to the maximum extent permitted by applicable law. Some jurisdictions do not allow the exclusion or limitation of incidental or consequential damages, so the exclusions and limitations set forth above may not apply.

9. Termination. Transcend may, in addition to any other remedies available to Transcend, terminate this Agreement immediately if Customer breaches any of its obligations under this Agreement.

10. Miscellaneous. (a) This Agreement constitutes the entire agreement between Transcend and Customer concerning the subject matter hereof, and it may only be modified by a written amendment signed by an authorized executive of Transcend. (b) Except to the extent applicable law, if any, provides otherwise, this Agreement will be governed by the law of the Republic of China, excluding its conflict of law provisions. (c) If any part of this Agreement is held invalid or unenforceable, and the remaining portions will remain in full force and effect. (d) A waiver by either party of any term or condition of this Agreement or any breach thereof, in any one instance, will not waive such term or condition or any subsequent breach thereof. (e) Transcend may assign its rights under this Agreement without condition. (f) This Agreement will be binding upon and will inure to the benefit of the parties, their successors and permitted assigns.

16. Federal Communications Commission (FCC) Statement

This device complies with Part 15 FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference. (2) This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Transcend Information Inc (USA)
1645 North Brian Street, Orange, CA 92867, U.S.A
TEL: +1-714-921-2000